

1 月 11 日 (木曜日) くぬぎ植樹地 (2 号地) の奥を整備する

【参加者：池本、越智宏、越智美、梶川、木谷、芝田香、芝田美、杉、鈴木哲、鈴木明、中 11 名】

先週は正月休みで、今日が今年初めてのモリメイト活動であった。比較的暖かく作業しやすい日で、11 名が参加した。



クヌギの植樹地 (2 号地) の奥は、ツゲやソゴの常緑樹が繁茂し、日光が遮られて暗く鬱蒼としていた。そこで、何本かのソゴやツゲを除伐することにした。見通しの良い、



風の通る明るい場所になった。ぬかるんでいた場所も改善されると思う。



植樹したクヌギの根元に溜まる落ち葉を取り除いて、周辺のササも鎌で刈ったので、植樹地全体がスッキリ整備された。



その後、散策路沿いの枯れマツを除伐。2 本とも直径 20 センチメートル高さ 10 メートルを超える大木で、風向きや枝ぶりを見て、倒す方向を決め、散策する人の安全を確かめながら、慎重に除伐した。



1月25日(木曜日)チルホールを使って枯れマツを除伐

【参加者:池本幸、越智宏、越智美、梶川、木谷、芝田香、芝田美、杉、鈴木哲、濱田

11名】

先週17日は、1日中冷たい雨が降り続いたため、モリメイト活動は中止となった。

今日は、伊賀の最高気温が3℃の予報。頬をさすような風の冷たさの中、11名のモリメイトが集まる。

午前中は、新たに採用された職員の伐倒作業の実技研修を兼ね、「観察の森」周辺の直径15cm~25cm、高さ10mほどの枯れマツ4本を除伐した。初めに、伐倒においては安全がすべてであることを全員で確認し、チェーンソーの正しい取り扱い方を復習した。

1本目は、倒れる方向も予想できたのでチルホールは使わず、チェーンソーで常法通りに伐り進め、最後は手で押して倒した。

2本目は、木は谷側に傾いているが遊歩道側に倒したいのでチルホールを使って伐倒することにした。伐倒する木にワイヤーロープをかけ、チェーンソーで受け口、追い口を入れ、チルホールを動かしゆっくり安全に伐倒した。3本目、4本目もチルホールを使って伐倒した。



シイタケの原木を 2本1組にする



午後は、「カブトムシの森」に置いてあったシイタケの原木100本をビジターコテージ前に運んだ。大中小の3種類に分け、太さが公平になるように2本1組にして紐でくくった。16組の参加予定だが予備も入れ20組作った。



モリメイト会議は

主に、2月11日に実施する「シイタケの菌打ち体験」について話し合った。

募集人数 16組

参加費 1000円

事前準備

菌コマを袋に60個いれる、道具類の準備、原木の札付け、シイタケランドの整備など